

# 統計教育指導を進めて

名古屋市統計教育研究会 社会科部会(平成29年8月作成)

## 1 名古屋市統計教育研究会 社会科部会のあゆみ

- 1972年(昭和48年)4月1日設立。
- 名古屋市統計教育研究会の中の1部会(名統研の部会は、社会科、算数・数学科、理科特別活動の4部会で構成している。交流をしながら研究推進を行う。)
- 名統研では毎年「統計教育指導事例集」を発行し、研究発表会において各部会が実践発表を行う。
- 愛統研「愛知の統計教育」執筆及び研究発表会での実践発表を行う。

## 2 社会科における統計教育

様々な資料を効果的に活用し、社会生活についての理解を図り、公民的資質の基礎を養う。

## 3 研究実績

平成26年度 愛知県統計教育研究協議会  
研究発表会 実践発表

表やグラフを活用することで、内容が分かりやすくなり、しっかりと理解することができた。多面的に理解しているかをとらえさせる表の活用が、有効であった。

平成27・28年度 愛知県統計教育研究協議会  
研究発表会 紙上発表

子どもたちが視覚的にとらえたり、分析したりする上で有効な統計資料の活用方法を研究した。

子どもの調べた事実とギャップのある資料を提示することで意欲を高めることができた。

平成29年度 統計指導者講習会・  
総務省教育関係者向けセミナー 参加

統計指導の意義・重要性やPPDACサイクル、新学習指導要領における統計教育について学び、統計教育の重要性を再認識する機会となった。

## 4 研究主題

統計的手法を活用し、主体的に問題解決を図る社会科学習

〈重点指導〉

- ・統計を学習や生活の中で活用し、統計的な見方や考え方で問題の解決に当たる態度を育成する指導。
- ・読解力や表現力の育成に向けて、資料を読み取る機会や、処理した資料を使って説明する機会の充実に努める指導。

## 5 平成28年度の実践

—3年「名古屋の様子」の実践を通して—

〈学習過程〉

|              |   |
|--------------|---|
| とらえる         | 地下鉄の線路図を基に学習問題「わたしたちの住む地域と他の地域とは、どのような違いがあるのだろうか」をつくる。  |
| あつめる         | 航空写真や土地利用図等の資料を活用して、名古屋市の様々な地域を調べる。   |
| まとめる<br>よみとる | 調べたことを「地形の様子」「土地利用の様子」「交通の様子」の3視点で整理して表にまとめ、地域の特色をよみとる。                                       |
| 生かす          | アンケート調査資料を提示することで、名古屋市には様々な特色があるにもかかわらず「都会である」というイメージが強いことを知らせる。そして市外の人に名古屋市のことを伝えるポスターを作成する。 |

〈実践内容〉



## 6 研究の成果

図や表を基にして、関連づけたり傾向をつかんだりすることで、具体的に全体を捉えることができた。

統計的手法を活用することで、子どもたちが視覚的に捉えたり、分析したりすることができ、主体的に活動する姿につながった。